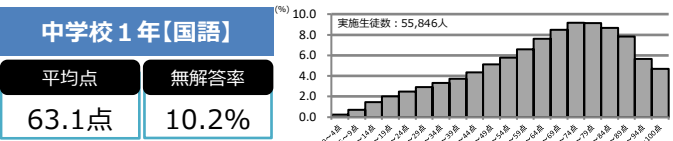


- 内容  
 ・中学校第1学年：国語、数学、英語、生徒アンケート  
 ・中学校第2学年：国語、社会（選択問題A・B）、数学、理科、英語、生徒アンケート

- 対象  
 ・市内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程  
 及び府立中学校並びに支援学校中学部の第1学年及び第2学年

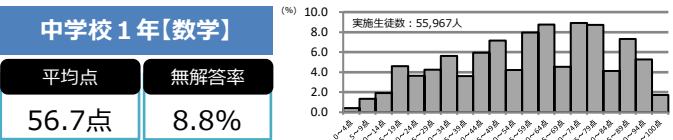
- 実施校数(1月14日実施分)  
 ・中学校第1学年：467校  
 ・中学校第2学年：469校

- 実施生徒数(1月14日実施分)  
 ・中学校第1学年：56,136人  
 ・中学校第2学年：55,989人



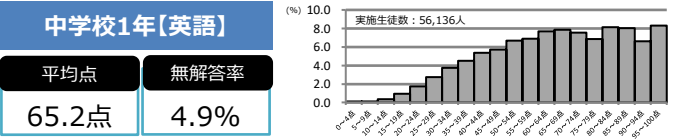
**良好** □文章全体と部分との関係を考え、内容の理解に役立てること。  
 □文章の構成や展開について理解すること。  
**課題** ■資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫すること。  
 ■古文において、登場人物の描写に注意して読むこと。

【これからの学習に向けたアドバイス】  
 ★資料を用いてわかりやすく表現するには、数値等の大事な部分に着目し、どの方向で伝えるかを考えることが大切です。普段出合う文章や資料の表現の工夫を参考に、読み取れる事実と自分の考えを結び付けて表現しましょう。  
 ★古文は、主語が省略されていることがよくあります。登場人物や動作に関する表現に注意して、必要に応じて主語を補足して読みましょう。



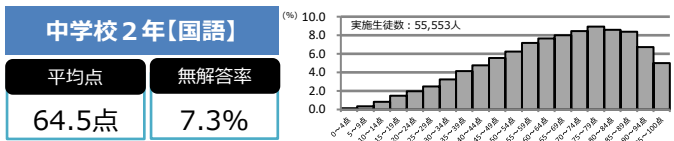
**良好** □文字式の表現について理解すること。  
 □直線上にない点を通る、垂線の作図の方法を理解すること。  
**課題** ■問題文中の数量に着目し、一次方程式を作ること。  
 ■グラフから情報を読み取り、歩く速さを求めること。

【これからの学習に向けたアドバイス】  
 ★方程式を立てるときは、問題文中にある数量の関係を図や表などに表して整理しましょう。また、立てた式が正しいか確かめるようにしましょう。  
 ★数量の関係を表したグラフを読み取るときは、縦軸や横軸が何を表しているのか、単位は何かを確認し、必要な情報を整理しましょう。



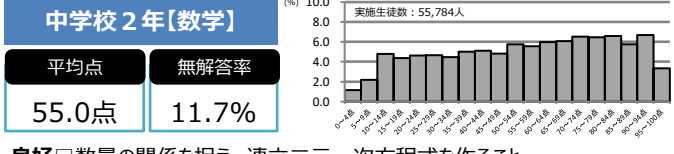
**良好** □短い英文や会話などを聞き、話し手の意図を理解したり、内容の要点を把握したりすること。  
 □まとまった英文を読み、必要な情報を読み取ること。  
**課題** ■文法や語彙の知識を活用し、場面に応じた英文を書くこと。  
 ■まとまった英文を読み、概要を捉え、内容の要点を適切に把握すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】  
 ★文法や語彙はコミュニケーションを支えるものです。小学校で慣れ親しんだ語彙や表現も含め、学習で使った表現は、単語の綴りや語順を意識しながら繰り返し使しましょう。  
 ★まとまった英文を読むときは、まず知っている語句からおおよその内容をつかみ、文章全体を捉えてから、内容の要点を理解しましょう。



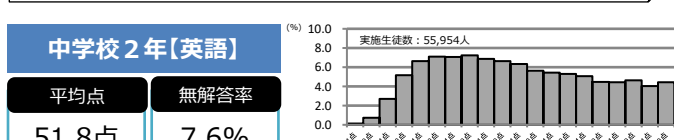
**良好** □文脈の中における語句の意味を的確に捉えること。  
 □複数の資料において、共通に当てはまる項目を理解して書くこと。  
**課題** ■修飾と被修飾との関係について、理解すること。  
 ■古文において、登場人物の描写に注意して読むこと。

【これからの学習に向けたアドバイス】  
 ★主語や述語、修飾語や被修飾語など、文の中でのそれぞれの言葉の役割を考えましょう。  
 ★古文は、主語が省略されていることがよくあります。登場人物や動作に関する表現に注意して、必要に応じて主語を補足して読みましょう。



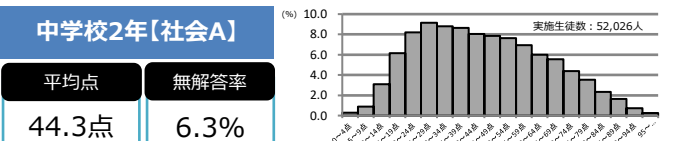
**良好** □数量の関係を捉え、連立二元一次方程式を作ること。  
 □証明の根拠として用いられる三角形の合同条件を理解すること。  
**課題** ■事柄が成り立つ理由を、文字式を用いて説明すること。  
 ■2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】  
 ★図形の証明など、事柄が成り立つ理由を説明するときには、説明全体の流れを理解することが大切です。そのため、まず教科書等に掲載されているすでに完成した証明などを読むことから始めましょう。実際に説明するときには、結論を導くために必要な事柄を結論から逆向きに考えたり、仮定や仮定から導かれる事柄を明らかにしたりして、説明の流れを考えましょう。



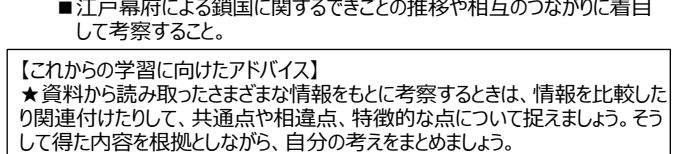
**良好** □会話を聞き、話し手の意図を理解したり、内容の要点を把握したりすること。  
 □まとまった英文を読み、必要な情報を読み取ること。  
**課題** ■文法や語彙の知識を活用し、場面に応じた英文を書くこと。  
 ■まとまった英文を読み、概要を捉え、内容の要点を適切に把握すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】  
 ★文法や語彙はコミュニケーションを支えるものです。繰り返し書いたり読んだりして理解しましょう。また、前後の文の内容や流れを理解し、文脈に合った英文をさまざまな場面で繰り返し書きましょう。  
 ★まとまった英文を読むときは、まず知っている語句からおおよその内容をつかみ、文章全体を捉えてから、内容の要点や情報を整理しましょう。

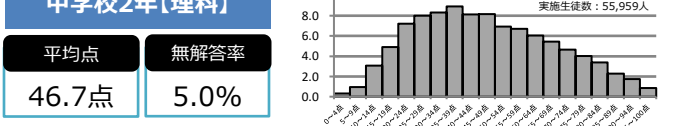


**良好** □都道府県の特徴について理解すること。  
 □江戸時代の農業に関する資料から情報を正確に読み取ること。  
**課題** ■資料から読み取った情報をもとに考察し、説明すること。  
 ■江戸幕府による鎖国に関するできごとの推移や相互のつながりに着目して考察すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】  
 ★資料から読み取ったさまざまな情報をもとに考察するときは、情報を比較したり関連付けたりして、共通点や相違点、特徴的な点について捉えましょう。そうして得た内容を根拠としながら、自分の考えをまとめましょう。  
 ★歴史に関わる事象については、起こった出来事の本質を理解し、他の事象とのつながりについても理解しましょう。



**良好** □血液の各成分のはたらきについて理解すること。  
 □酸素の性質と金属の性質について理解すること。  
**課題** ■化学変化によって発生する気体や発熱反応について理解すること。  
 ■実験において、方法の一部を変更することで、実験結果がどのように変わるかを考えること。



**良好** □血液の各成分のはたらきについて理解すること。  
 □酸素の性質と金属の性質について理解すること。  
**課題** ■化学変化によって発生する気体や発熱反応について理解すること。  
 ■実験において、方法の一部を変更することで、実験結果がどのように変わるかを考えること。

【これからの学習に向けたアドバイス】  
 ★普段の生活で起こる現象の中には、理科の学習で得た知識を活用して説明できるものがたくさんあります。理科で学習したことが、普段の生活の中で活用されていないか調べたり、生活で起こる現象等と結びつけて考えたりしてみましょう。  
 ★観察や実験をするときは、計画を立てる際に、予想や仮説と異なる結果が出る場合があります。その際は、原因を分析し、条件や方法を変えるなど試行錯誤して、再度、検証してみましょう。

概要はこちらからもご覧いただけます。

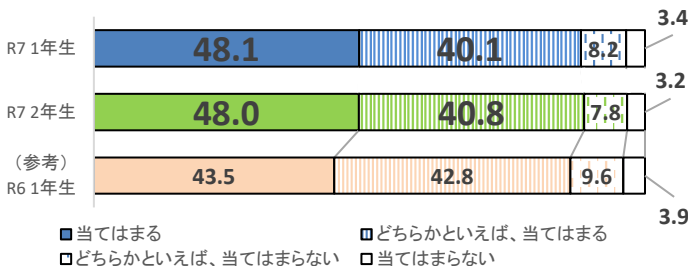


# 令和7年度中学生チャレンジテスト(1・2年生)の生徒アンケート結果 ※それぞれのグラフに、その他・無回答の数値は示していません。

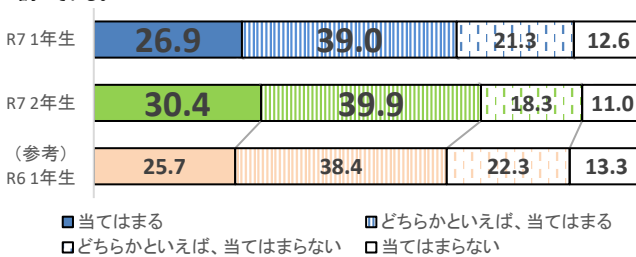
アンケート項目の中から、普段の学習や生活の中でみなさんが取り組んだり意識したりしてほしいことを以下に取り上げました。これらのアンケート項目において、肯定的な回答をしている生徒ほど教科のテストの平均点が高い傾向が見られます。みなさん自身の状況を振り返り、ぜひこれからの学習や生活の参考にしてください。また各項目のグラフには、今年度の1年生と2年生の結果に加えて、昨年度の1年生の結果も参考に示しています。今年度の2年生は、昨年度1年生の時と比べてどのように変化したが、あるいは今年度の1年生は、昨年度の1年生と比べてどのような傾向があるか、結果を見るときの参考にしてください。

## 学習するときに意識しよう

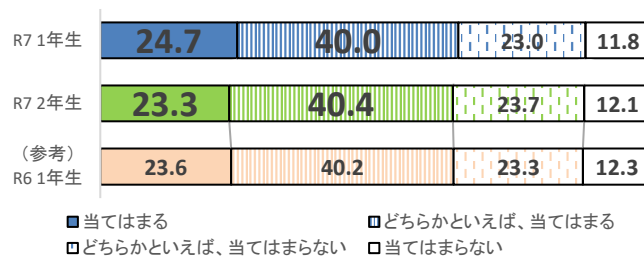
■ 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



■ わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



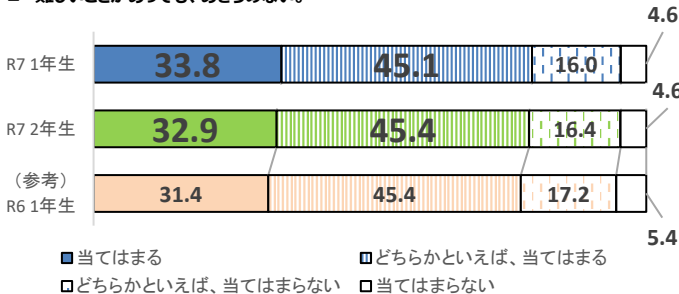
■ 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。



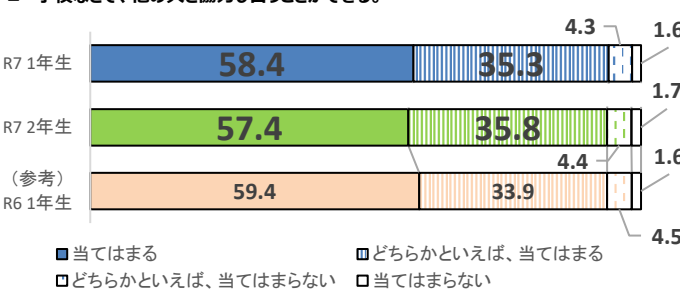
学習の成果をより確かなものにするためには、「自ら進んで学ぶ」主体的な学びが必要です。上に取り上げた3つの項目は、主体的な学びにつながる大切な項目です。いずれの項目においても、半数以上の生徒が肯定的に回答しています。特に「文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる」という項目や、「わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている」という項目については、今年度の2年生の結果は昨年度の1年生の時よりも肯定的な回答が増えており、主体的に学ぶ姿勢が身に付きつつあることが分かります。また、今年度の1年生は、昨年度の1年生よりも肯定的な回答が多く、1年生時から主体的な学びを意識できています。みなさんは、わからないことや苦手なことに出合ったとき、考えることをあきらめそうになったことはありませんか。自分自身わからないことや苦手なことと向き合い、調べたり考えたりすることは決して簡単なことではありませんが、粘り強く学習を進めていくことが自分の力につながります。ぜひ、上に取り上げた3つの項目を意識して、日々の学習に取り組みましょう。

## 学校や普段の生活で意識しよう

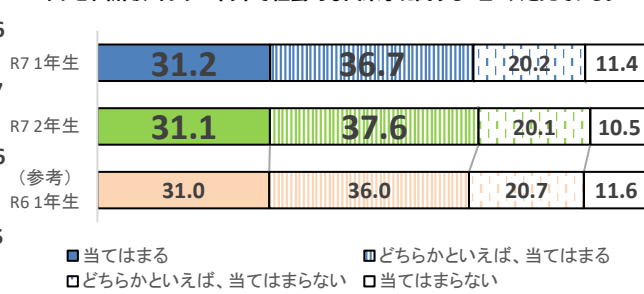
■ 難しいことがあっても、あきらめない。



■ 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



■ テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



「難しいことがあっても、あきらめない」という項目や、「学校などで、他の人と協力し合うことができる」という項目については、多くの生徒が肯定的な回答をしています。難しいことにあきらめずに取り組む姿勢は、粘り強く学習に向き合う姿勢につながります。また、他の人と協力しようとする姿勢は、協働して課題に取り組むときに役立ちます。引き続き、学校や普段の生活で、この2つの項目を意識してみましょう。

また、「テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている」という項目については、当てはまらないと回答した生徒が他の項目よりも多くなっています。ニュースに触れることは、今まで知らなかったことに出会うことができ、物事の見方や考え方が広がる良い機会です。物事の見方や考え方が広がれば、学習内容をより深く考え理解することにつながります。これからも、興味のある動画や話題ばかりでなく、意識してニュースに触れる機会をもつように心がけましょう。

